

第3号

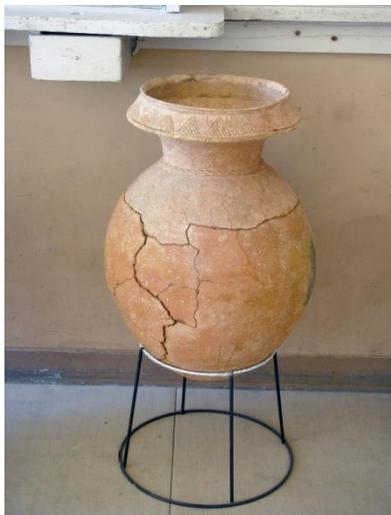
発行：平成31年2月
発行者：下松市教育委員会
編集：下松市郷土資料展示収蔵施設
「島の学び舎」
(0833)52-0860

しままなや 「島の学び舎」だより

クローズアップ

「御屋敷山遺跡」

意外と知られていませんが、市内は遺跡の宝庫です。当館では、遺跡から出土した多くの遺物を収蔵展示しています。その中でも、圧倒的な存在感を示しているのがこの壺で、昭和二十八年、御屋敷山浄水場建設現場で完形のまま出土しました。左の写真のように地中深く埋められていた弥生時代の壺棺です。この他、周辺には、古墳時代の住居跡や古墳が存在しています。



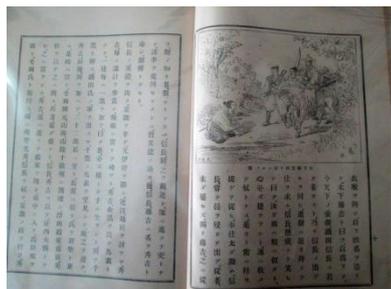
新展示「ブラウン管カラーテレビ」



このテレビには、リモコンがなく、チャンネルは回転式で切り替えていました。夕方になると、茶の間でチャンネル争いが起こり、チャンネルが壊れたり、取れたりした思い出がある方は多いと思います。

また、家具の王様という風格があり、家具調テレビといわれました。あの頃の茶の間をなつかしく思い出させる一品です。

展示小品紹介「高等小学歴史三」



当館では、明治時代の教科書を多く収蔵しています。この本では、木下籐吉郎が懐かめた草履を差し出す有名シーンイラストが描かれています。

話題の資料

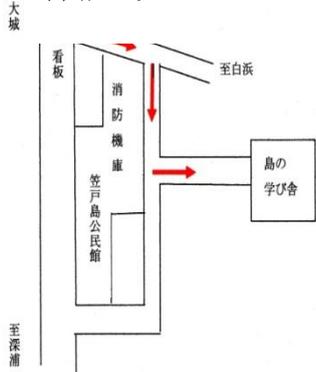


大昔はわかりませんが、大正時代には笠戸島にも鹿がいたことがありません。周南市大島から鹿が一頭海を渡ってきました。それを撃とうとしたのが、矢嶋作郎の養子専平でした。この床几(しようぎ)は狩猟に用いる携帯用椅子で、矢嶋専平が使ったものです。

編集後記

皆様から、多くの民具を寄贈いただき、ありがとうございます。これらの民具は、小学校3年の「むかしのからしと道具」の授業に活用させていただいており、本年度は3校260名の児童が見学に訪れています。現在、糸車、座繰等の民具及び昭和三十年代以前の古写真を探しています。

詳細マップ



開館日時 火・木・土・日・祝

10時～16時

所在地 下松市大字笠戸島 10032-38